

2017年度 苦情・事故状況

<事故>

日時	内容	結果	検証及び課題
8月	他児とトラブルになり右頬を噛まれ、内出血する。	顔の傷の為受診する。	子ども同士の関わりの中ですぐに対応出来る様、職員の配置や注意力・職員同士の声の掛け合い等を職員間で再度意識出来る様に周知する。
9月	積み木の取り合いになり、持っていた積み木で頭を叩かれ、おでこ1~2mm程切る。	受診の際には出血も止まっており特に変わった様子も見られなかった。そのまま回復に向かう。	子ども同士の関わりの中ですぐに対応出来る様、職員の配置や注意力・職員同士の声の掛け合い等を職員間で再度意識出来る様に周知する。
10月	階段を降りる際、死角の部分で他児に左頬を噛まれる。	顔の傷の為受診する。噛み後が残っている為塗り薬を処方され、一週間後にもう一度再診。回復に向かっている為、その後は経過観察となる。	移動時などはすぐに対応出来る様、職員の配置や注意力・職員同士の声の掛け合い等を職員間で再度意識出来る様に周知する。
1月	ピロティで三輪車に乗り遊んでいた際、バランスを崩し顔から転倒。前歯より出血、歯茎上5mm程切る。	受診により歯のぐらつきは認められるが、特に異常はないということで回復に向かう。	戸外での活動を増やしバランスの良い体作りを目指す。遊具で遊ぶ際は十分に注意する。

<苦情>

日時	内容	検討及び課題
4月	地域の方がいつも同じ時間帯に赤い車が右折で永寿園に入り、切り返して出てきた後、路駐して親子が乗るまで待っている。永寿園に用時もないのに切り替える為、利用する事も路駐する事もやめて欲しいと言われる。	園内に設置している防犯カメラで確認したところ、園児ではなく職員だった為今回の事を伝える。